



9月県議会閉会

物価高騰対策など
補正予算
約824億円
全会一致で可決



加藤英雄県議
議案・請願の討論

みわ由美県議

自民提出の議員定数等
条例改正案に反対討論

第3子以降の 公立小・中学給食費 無償化は一步前進

一票格差1対2未満 1人区抜本的解消で 多様な民意の反映を

10月14日に閉会した9月定例県議会で、補正予算が全会一致で可決しました。

日本共産党は、加藤英雄県議（柏市）が討論に立ち、連続する物価の高騰が県民の暮らしを直撃しているもとで、学校給食の経済的負担軽減をはかるため、第3子以降の給食費無償化、県立学校における食材等高騰分の補助などは一步前進とのべ、さらなる拡充を求めました。

コロナとインフルエンザの同時流行に備えを

加藤県議は、県のコロナウイルス感染「第7波」対策の検証を要求。冬にむけコロナとインフルエンザの同時流行が懸念されているもと、第8波を食い止める戦略的方針の確立と対策を求めました。第7波での自宅療養は7万1千人を超え、死者は第6波629人を上回る780人。県民の命を守り切れなかった深刻な事態を引き起こしました。県が7月に再開した「コロナ検査キット配布・陽性者登録センター」は、初日、わずか30分で一時休止。体制の立て直しに追い込まれました。昨年末から開始した誰でも無料で受けられる「一般検査事業」も5月でいったん中止し、9月から再開するなど迷走しています。

加藤県議は、検査の網の目の大規模拡大、保健所体制強化、医療機関への支援などを強調しました。

自民党提出の「千葉県議会議員の定数及び選挙区等一部改正条例」が賛成多数で可決しました。日本共産党みわ由美県議（松戸市）は、同党案は、一票の較差は最大2.69倍、依然として12選挙区が2倍以上。投票の多くが議席に結びつかない「1人区」が11選挙区も残ると、厳しく指摘し、反対しました。

日本共産党は、一票の較差最大1.64倍、現行制度の制約を受ける1選挙区を除く、12の選挙区すべてで解消する案を提案しました。

2022年9月県議会 主な意見書・請願への態度 ○…賛成・採択 ×…反対・不採択	共産党	自民党	公明党	千葉民主
自民党提出発議 県議定数・選挙区等条例一部改正（一票最大較差2.69倍、1人区11選挙区）	×	○	×	×
統一協会及び関連団体と議員との関係を公表し、いっさいの関係を断絶する決議	○	×	×	○
消費税率5%への引き下げ及びインボイス制度の実施中止を求める意見書	○	×	×	×
高齢者医療費の窓口負担2倍化中止を求める意見書	○	×	×	×
教員定数の大幅増員を求める意見書	○	×	×	×
学校のトイレに生理用品の設置をさらにすすめ、予算措置を求める請願	○	×	×	×
医療・介護・福祉職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願	○	×	×	×